

木竹伐採設計説明書

		行為の概要				
1 森林地内の伐採	伐採の目的					
	伐採区域面積	平方メートル				
	伐採区域の林相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林				
	伐採区域の主要樹種					
	伐採区域の林齢又は林齢範囲					
	伐採量	本 立方メートル				
	伐採主要樹種					
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐				
	伐採後の跡地の処理方法					
	隣接地の現況					
2 森林地外の伐採	(1) 集団をなす木竹の伐採	伐採の目的				
		伐採区域面積	平方メートル			
		伐採区域の主要樹種				
		伐採区域の樹齢又は樹齢範囲				
		伐採量	本 立方メートル			
		伐採主要樹種				
		伐採方法	(ア)皆伐 (イ)択伐 (択伐率 パーセント)			
		伐採後の跡地の処理方法				
		隣接地の現況				
	(2) 独立の木竹の伐採	伐採の目的				
	樹種名	樹齢 約年	樹高 メートル	胸高直径 メートル	本数 本	

市街地の既存住宅地などの木竹の伐採はこちらへ記入。本数が多い場合など別紙に記入可（別紙のとおりなど）。

1 該当の番号及び符号に○印をつけ、その他に該当する場合は、当該事項を具体的に記載してください。

2 伐採後の跡地の処理方法については、植栽等を記載してください。

3 「択伐率」とは、伐採区域における総材積に対する択伐量をいう。

4 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは各幹直径の合計70パーセントを採り、1.3メートルのところが枝の分れ目であるときは、すぐ上部の寸法を採用してください。

5 変更の場合には、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるようにし、変更後のものを朱書してください。他の添付図書についても同様にしてください。

木竹伐採設計説明書記入要領

1. 行為の概要

※宅地内の樹木の伐採を申請する場合は、「2 森林地外の伐採（2）独立の木竹の伐採」の欄に記入してください。書ききれない場合は、別紙にすることもできます。

①伐採の目的

建築物・工作物の建築、宅地の造成等具体的に記入して下さい。

②伐採区域面積

伐採を行う区域の面積を記入して下さい。

③伐採区域の林相

該当項目に○印をつけて下さい。

④伐採区域の主要樹種

伐採区域の主要な樹種を2～3種類記入して下さい。

⑤伐採区域の林齢又は林齢範囲

伐採区域の林齢、幅がある場合はその範囲を記入して下さい。

⑥伐採量

伐採予定本数を記入して下さい。

⑦伐採主要樹種

伐採を行う樹種の主要な樹種を2～3種類記入して下さい。

⑧伐採方法

該当項目に○印をつけて下さい。

⑨伐採後の跡地の処理方法

修景緑化等を十分に考慮して記入して下さい。

⑩隣接地の現況

山林、宅地、道路等具体的に記入して下さい。

2. 添付書類 ※これ以外に各行為共通書類が必要です

①伐採計画図（1000分の1以上）

保存する木竹、伐採する木竹、移植する木竹及び新たに植栽する木竹を色分けし、木竹名、高さ・周径・枝張り、本数、保存・移植が不可能な理由等を記載し、あわせて伐採後の土地の利用状況を記載してください。各木竹には、通し番号を表示してください。

山林等で樹木が密集している場合には、サンプリングによる現況調査も可能です。サンプリングが必要な場合には、担当へご相談ください。戸建住宅などで本数が少ない場合は、植栽計画図と兼ねることができます。）

- ・ **新植**：記号を○で囲み、緑に着色
- ・ **移植**：記号を◎で囲み、橙に着色。移植前は、で記載。
- ・ **保存**：記号を△で囲み、黄に着色
- ・ **伐採**：記号を□で囲み、赤に着色

②地形図（１０００分の１以上）

既存の建築物・工作物、木竹等についても記載して下さい。

③現況植生図（２００分の１以上）

現況植生図は、樹木の保存、移植、伐採がわかるように作成して下さい。大規模な敷地で自然林が存在する場合には、サンプリング調査で現況植生図を作成します。サンプリング調査の詳細はご相談下さい。戸建住宅など本数が少ない場合は、植栽計画図と兼ねることができます。

④伐採区域求積図

計算表を添付して下さい。